

2025年1月31日
東京ガス株式会社

2024年度（2025年3月期）第3四半期決算説明会
Q&A

Q1：25年度ROE8%必達ということだが、どのように達成していくのか。

A1：今年度の、海外事業における低水準の北米ガス価格影響、電力事業における制度影響・発電所の修繕等といった、収支押し下げの一過性要因からの回復が期待できる。加えて、北米シェール事業における北米ガス価格が好転している中での適切なヘッジの実施等による利益拡大、さらには非効率資産の売却等により、分子の利益を伸長させていく。
また、分母の自己資本については分子の利益の状況等を踏まえて、機動的に策を講じていく。

Q2：どのように30年頃にROE10%を目指していくのか。

A2：成長領域への投資による利益成長と資産・事業の効率化、入れ替えによる資本効率向上、といった事業ポートフォリオマネジメントの推進を通じて成長していく。現中計期間後の経営計画策定方針における事業ポートフォリオマネジメントの考え方および適切な資本政策については、25年3月にお示しする予定である。

以上